

業 務 名

初動警察活動の推進

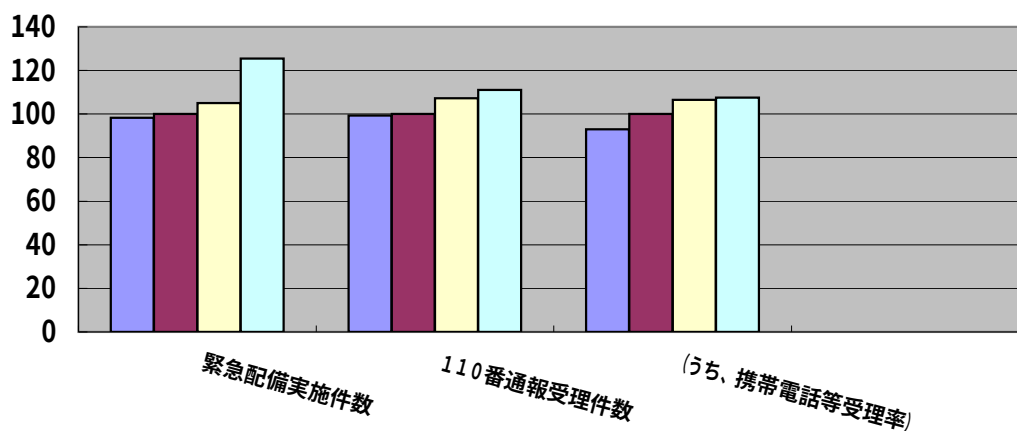
○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
緊急配備実施件数	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	58	59	62	74	件
110番通報受理件数	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	90,933	91,545	98,223	101,679	件
(うち、携帯電話等受理率)	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	55.3	59.5	63.4	64.0	%
	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位

※「緊急配備」とは、重要な犯罪等の発生に際し、犯人の早期検挙等のため多数の警察官を集中動員し、検問等を行う初動活動をいう。

統計の推移

■平成13年 ■平成14年 ■平成15年 ■平成16年



<グラフは、平成14年を100とする指数で表した。>

○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成16年度事業費 (千円)	平成17年度事業費 (千円)
1	地域警察費	3,651	2,829
2	総合指令警察運営費	1,709	1,660
3	通信指令室機器維持管理費	194,760	218,813
4	警察運営諸費	4,813	4,832
5	県民のための警察活動迅速化推進費	3,508	2,772
6	警察無線高度化更新事業費	263,164	6,708
7	ヘリコプター維持管理費	2,748	2,795
8	ヘリコプター運用・維持費	44,711	89,959
合 計		519,064	330,368

○平成16年の取組み

●平成16年4月に運用を開始した通信指令システム「三重県警察110番センター」を効率的に活用し、年々増加する110番通報に対して、適時、適切な初動警察活動を実施した。

●凶悪事件の発生に際しては、74件の緊急配備を実施するとともに、通信指令システムの地図表示システム等を活用して犯人の早期検挙に努めた。

●警察用航空機による活動については、重要事件発生時の初動対応のほか、街頭犯罪等を抑止するための集中パトロール、山岳遭難者・行方不明者等の搜索など計641回の飛行を行うとともに、台風21号集中豪雨の被災状況などをヘリコプターテレビシステムを活用してリアルタイムに情報配信（計28回）するなど、各種警察活動の支援を行った。

○課題を踏まえた平成17年の取組み

●通信指令システムを効率的に運用し、年々増加する110番通報の受理、迅速な緊急配備や指令を実施して、犯罪の発生から早期に犯人を検挙するため、的確な初動警察活動を推進する。

●空からのパトロール活動を通じて、緊急配備活動への従事、各種捜査活動、山岳、海上における搜索救急活動など、ヘリコプターの機動性、広視界性を活かした活動を推進する。